

花折峠に描かれた野草たち

番号	野草名	科	開花時期	分布 生育環境	花の色	花の形	高さ	名前の由来 / ★こぼれ話 / ♡節子さんとの関連性
						葉の特徴		
1	クサマオ (カラムシ) (茎蒸)	イラクサ科 多年草	7~9月	本州、四国、九州、沖縄 人里近く	白	小花 房状	1~2m	【名前】茎(幹から)を蒸して皮をはぎ、繊維をとることに由来 ★茎の繊維は長くて丈夫なので上越上布をはじめ、昔から上質の 織物がつくられている他、紐や縄、漁網、紙など多用途 ☞「強くすくすく成長してほしい」と長男に「草麻生」と命名 ☞複数の作品に描かれる
2	ヒメムカシヨモギ (姫昔蓬)	キク科 2年草	8~10月	北アメリカ原産→日本各地 道端や荒地	(中心) 黄 (周り) 白	管状 舌状	1~2m	【別名】明治草、鉄道草 ※明治維新のころ渡来し、鉄道線路に沿って広がったことに由来
3	ノリウツギ (糊空木)	アジサイ科 落葉低木	7~9月	北海道~九州 冷涼な山地の明るい場所	白	円錐状 小花多数	2~3m	【名前】幹の内皮で製紙用ののりを作ることに由来 ☞節子さんが長等に来て最も好んだ植物 ☞複数の作品に描かれる
4	カスミノウ (霞草)	ナデシコ科 1年草・宿根草	5~8月	地中海沿岸~ アジア 日当たりと水はけ、風通しが よいところ	白	八重咲	0.2 ~1m	【名前】細かく枝分かれして白い小花を無数に咲かせる姿が春霞 のようなことに由来 ★日本では園芸用に育てられている(※品種により形状も様々) ★ドライフラワーにされることも多い ☞複数の作品に描かれる
5	ウマノアシガタ (馬の脚形)	キンポウゲ科 多年草	4~5月	北海道、本州、四国、九州 山野の日当たりのよいところ	黄 光沢	(花弁) 5枚	30~70 cm	【名前】葉の形を馬のひづめに見立てたことに由来 【別名】キンポウゲ ★有毒植物 ☞複数の作品に描かれる
6	ナデシコ (撫子) (カワラナデシコ)	ナデシコ科 多年草	7~10月	本州、四国、九州 山野の日当たりのよい湿地	淡紅紫	(花弁) 糸状 に裂ける	30~80 cm	【名前】河原に生えて可憐な花を「撫子(なでしこ)」と言うことに由来 ★秋の七草の一つ ☞複数の作品に描かれる
7	ヤマジノギク (山路野菊)	キク科 2年草	9~10月	本州(東海地方以西) 四国、九州 日当たりのよい乾いた草地	淡青紫	キク形	0.3 ~1m	【別名】アレノギク ★大型の野菊 ☞複数の作品に描かれる
8	ミズギボウシ (水擬宝珠)	キジカクシ科 多年草	8~10月	本州(愛知県以西) 山野の日当たりのよい湿地	淡紫	筒状鐘形 横向き	40~65 cm	【名前】 湿地に生えることに由来
9	ニガナ (苦菜)	キク科 多年草	5~7月	日本全土 日当たりのよいところ	黄	キク形	20~50 cm	★茎や葉を切ると苦みのある白い乳液が出ることに由来 ☞複数の作品に描かれる
10	ノコギリソウ (鋸草)	キク科 多年草	7~9月	北海道、本州(中部以北) 山地の草原	白	キク形	0.5 ~1m	【名前】ノコギリの歯のような葉の形に由来 【別名】花が美しいので羽衣草ともいう ★鑑賞用として庭に植えられることもある
11	キキョウ (桔梗)	キキョウ科 多年草	7~9月	北海道、本州、四国、九州 日当たりのよい草地	青紫	鐘形 横向き	0.5 ~1m	【名前】漢名の桔梗を音読みしたもの ★秋の七草の一つ(「朝貌」は本種とされる) ★根を薬用(せき止めなど)にすることが中国から伝えられ広まった
12	ホタルブクロ (蛍袋)	キキョウ科 多年草	6~7月	北海道、本州、四国、九州 山野や丘陵	淡紅紫 白	鐘形 先は浅く5 裂	40~80 cm	【名前】ぶら下がって咲く花を提灯に見立てて、火垂(提灯の古語) をあてたという説と、子供が花のなかに蛍を入れて遊んだからという 説がある ※方言名も多い

No.	野草名	科	開花時期	分布 生育環境	花の色	花の形	高さ	名前の由来 / ★こぼれ話 / ♡節子さんとの関連性
						葉の特徴		
13	ササユリ (笹百合)	ユリ科 多年草	7~8月	本州(中部以西)、四国、九州 平地から丘陵、山地にかけての草地	淡紅	ユリ型 (漏斗状)	0.5 ~1m	【名前】葉が笹の葉に似ていることに由来 ★芳香がある
14	ワレモコウ (吾木香) (吾亦紅)	バラ科 多年草	8~10月	北海道、本州、四国、九州 山野の日当たりのよい草地	暗赤紫	穂状 (小花 密集)	0.5 ~1m	【名前】花の形や香りなど似たものに由来という諸説あり ★葉にスイカのような香りがある ★乾燥した根茎を地榆と呼び、止血剤にする ☞節子さんが最も好んだ植物 ☞多くの作品に描かれる
15	オミナエシ (女郎花)	スイカズラ科 多年草	8~10月	日本全土 山野の日当たりのよい草地	黄	散房状 (花冠) 5裂	0.6 ~1m	【名前】「オミナメシ」とも言われ、「オミナ」は女のことでやさしい花の意と、「メシ」は「粟飯」のことで花を「粟」と見立て「メシ」といったという牧野富太郎の説もある ★秋の七草の一つ ☞複数の作品に描かれる
16	ツリガネニンジン (釣鐘人参)	キキョウ科 多年草	8~10月	北海道、本州、四国、九州 山野	青紫	数段・輪生 釣鐘型 (基部膨)	0.4 ~1m	【名前】花の形が釣鐘型で白く太い根が高麗人参の形に似ていることに由来 ★切ると乳液が出る ★春の若芽は古くから山菜として親しまれてきた
17	ゲンショウコ (現の証拠)	フウロソウ科 多年草	7~10月	北海道、本州、四国、九州 山野	紅紫 ~淡紅 白	(花弁) 5枚 ・掌状に3~5深裂	30~60 cm	【名前】下痢止めの民間薬として有名で、飲むとすぐに薬効があることに由来 【別名】神輿草 ★花の色は西日本では紅紫~薄紅、東日本では白が多い ☞複数の作品に描かれる
18	ヨメナ (嫁菜)	キク科 多年草	7~10月	本州(中部以西)、四国、九州 山野の湿ったところや道端	帯青紫	キク形	0.5 ~1.2m	★若葉は特有の香りがある ★『万葉集』には「ウハギ」の名で登場し、古くから若菜積みの草として知られている ★ヨメナ飯は菜飯の代表格
19	ハルジオン (春紫苑) (ハルジオオン)	キク科 多年草	5~7月	北アメリカ原産→日本各地 道端	淡紅 ~白	キク形	0.3 ~1m	【名前】春に咲くシオン(紫苑)として和名を牧野富太郎が命名した ★大正時代に園芸植物として渡来し庭に植えられたが、次第に野生化し、帰化植物となった
20	クズ (葛)	マメ科 多年草	7~9月	日本全土 山野	紅紫	総状 に 多数 ・3小葉からなる ・小葉は卵円形や楕円形 ※浅く3つに裂けるものもある ・裏は白い毛が密生する	0.5 ~1m	【名前】根からとったでんぷんが葛粉で、大和(奈良)の国産が葛粉の産地であったことに由来 ★秋の七草の一つ ★根を乾燥したものを風邪薬の葛根湯に用いる ★茎からとった繊維繊維で織った布を葛布という
21	オキナグサ (翁草)	キンポウゲ科 多年草	4~5月	本州、四国、九州 山野の日当たりのよい草地や河原	暗赤紫	鐘形 (下向き) 花弁状萼片 6枚 ・2回羽状複葉 羽軸からさらに羽軸が分岐し、その両端に切れ込みがあるような葉	30~40 cm	【名前】羽毛状に伸びた花柱をつけた種の集まりを老人の白髪に例えた ★岩手県では「うずのしゆげ」(おじいさんのひげの意味)とよばれる ☞宮沢賢治の童話「おきな草の星」を読み描いた作品がある
22	カタバミ (傍食)	カタバミ科 多年草	5~7月	日本全土 庭や道端 ※世界中に分布する	黄	(花弁) 5枚 ・3小葉からなる ・小葉はハート形	10~30 cm	【名前】葉が夕方になって閉じると一方が欠けてみえることに由来 ★茎や葉にはシュウ酸を含み、昔は真鍮で作った仏具屋鉄製の鏡をこれで磨いた ★踏まれても枯れない力強い生命力から、家紋のひとつ「片喰紋」として用いられる ☞複数の作品に描かれる ※花が紅紫色のものは南アメリカ原産 帰化植物のムラサキカタバミ

参考: 山と溪谷社「山溪ハンディ図鑑」 北隆館「学生版 牧野日本植物図鑑」
Webサイト「季節の花 300」「みんなの花図鑑」

